



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成
～～～ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ～～～

☆ 11月の目標

☆安全の「あ」
健康な自分・・・
※体力づくりをしよう
※手洗い、うがいをしよう

☆配布物のお知らせ
1 学校便り 32号

☆今後の主な予定
・11月5日
個人懇談会

☆さんぎつね
(なりきり作文)

四年二組 矢野さちな

今日おれは、物置でなわを
なっていた。ふと顔を上げると、
きつねが家の中に入ってきた。
このまいうなぎをぬすんだきつ
ねが来たな。このきつねめ「お
れは、急いで立ち上がってなや
にかけてある火縄じゅうを取っ
て火薬をつめた。きつねにきつ
かれないように足音をしのばせ
てごんに近づきドンとうった。
ごんは、ぼたりとたおれた。家
の中を見ると土間にくりが固め
ておいてあるのが目についた。
なんだこれは。」おれは気づい
た。

「ごんおまえだったのか、いつ
も、くりをくれたのは。」
ごんはぐったりと目をつぶっ
たままうなずいた。
「ごめん。おまえがくりを
持つてきてくれたのに気づかな
くて。悪かったな。」
おれは、おどろいて火なわ
じゅうをぼたりとおとした。
おれは、ごんの
そばにかけ
よって行って、
頭を何度も下げ
てあやまった。



☆六年二組

「きれいな地球」 イレシジ愛子

未来がよりよくあるためには、地球をきれいにするのが大切だ。そのためには、地球が汚れないような方法を考える。たとえば、ゴミをきちんと捨てるなどだ。その根拠として、次のような出来事がある。わたしは、公園に行ったり、たまたま散歩をしたりするといつも、ゴミがちらかしてあるのを見ることが多い。ゴミがそのままほっとしてあるのを見るのがすごくかなしいです。だから、いろんなごみを捨てたり、使い方を考えることができる。しかし、みんながみんなきちんとしてゴミを捨てると考えるわけではないと思う人もいるだろう。それに対して、わたしは、みんながゴミをきちんと捨てることを心がければ地球をきれいにできると思う。わたしたちができることは、ゴミをちゃんとしてゴミ箱にすて、自分たちの身の回りからきれいになれば、もっと地球をきれいにすることにつながると思う。

☆六年二組
「自由+夢」 平和 自由+夢
金田光太郎

平和は自由+夢、自由+夢+平和。これは、未来をよくするために必要なものだと思う。自由というものは、わがままの自由ではなく、差別がないことを言っている。三年生のころ人物しようかいをしている時、ぼくは、マーティールーサーキングジュニアを選んだ。彼は、アメリカで黒人差別を受けている時、夢があった。それはこういう夢だ。ほだの色をかんけいなくしたい。その夢で自由ができ、平和をもたらしたい。ただ夢を持っていて早くかなうものではない。彼は、何年も何年もかけて夢がかなった。だから、夢というもののはすごく大変である。さらに、夢だけで、自由がかなうわけでもない。希望がたくさんあるだろうが夢が一番だと思う。だから、みんなの夢が自由にするためなら、世界全体が自由と平和になると思います。だから、夢は大切です。

☆六年二組

「地球をきれいに」 村上雄一郎

未来がよりよくあるためには、ガソリンを使わないことが大切だ。そのためには、ガソリンを大量に出す車をハイブリッドカーにすることだと考える。
そのきっかけになったのは、前にテレビで地球温暖化がどう世界に影響を及ぼしているを見てからである。地球温暖化のものはガソリンが地球のまわりをたまって、そのガスが地球温暖化を起しているのだ。しかし、ガソリンを使わないで、どう人は生活するのかという人もいるだろう。それに対して、ぼくは、車をガソリンを使う車や電気を使う車にするのでもなく、ハイブリッドカーを使った方が良く考える。ぼくは、ガソリンは、未来をきたなくするものであるが、人が必要としているものだ。だから、ガソリンと同じ役割をするものが必要だ。そのスタートがハイブリッドカーだとぼくは考える。

☆六年二組
「排気ガスを出さないために」
山内 萌杏

未来がよりよくあるためには、排気ガスを使わないことが大切だ。そのためには、電気自動車が良いと思う。理由は、排気ガスを出さないからだ。それを思った理由は、排気ガスを出す方法を考えていたら、思いついたからだ。排気ガスは、地球温暖化にも影響している。温室効果ガスには、自動車が出す二酸化炭素も入っている。だから、排気ガスを出さないことはいいことだ。しかし、電気自動車は、電気の無駄になると考える人もいるだろう。でも、私は、空気が汚れないからいいと思う。空気をきれいにして、地球温暖化も防げるから電気自動車がいいと思う。今はまだ運転できないけれど、自分で運転できるようになったら、そのことを考えて車を選びたい。



☆六年二組

「未来のために」 山本 夏鈴

日本にも世界にも美しい景色はたくさんある。美しい景色は、人の心に安らぎを与えることができる。私は、そんな景色を未来へずっと受け継ぐことが大切だと思う。

日本の美しい景色のなかでも、代表的なのが富士山である。あの美しさなら、世界遺産にすぐに登録されると思っていた人も多かったが、長い間登録されなかった。その理由ははっきりしている。富士山の登山客が置いていったゴミがたまってしまったのだ。そのため、遠くから見たらきれいだが、側はとてみもない山になってしまった。それが理由で世界遺産に登録されていなかったのだ。二〇一三年世界文化遺産に登録されたが、ゴミの不法投棄はまだ収まっていない。いつかこのゴミ問題が無くなる日が来ることを願っている。

不法投棄をなくすには、どうしたらいいのか。わたしは、そう思い不法投棄の対策記事をいくつか読んだ。その中で人間の本質を生かした対策方法を見つけた。人間は、どんな悪い人でもきれいな花だんにはゴミを捨てないのだ。そこでよく不法投棄が起こる場所に花だんを作ったら不法投棄も無くなるし、きれいな花だんも増えて、素晴らしい方法でもっと広まってほしいと思った。そのほかにも看板や張り紙をつけるというらしい。美しい景色は、人の心にいやしをもたらす。心がいやされれば、争いも起こらなくなるだろう。私は、世界の美しい景色をみんなで見たい。



☆四年一組 感想文

「ごんぎつね」 河野龍敏

ぼくは、不思議なことが一つあります。それは兵十の行動です。ぼくは兵十がゆるせません。なぜかと言うと、ごんがわるきもなく兵十の家へくりと松たけをとどけにきたのに兵十は、ごんのことを気にしないでうって殺してしまいました。もしも、兵十がじゆうをごんにむけたとき、相手の気持ちを分かっていたらごんを殺せなかったはずです。ちよつとでも兵十がごんの気持ちや行動をそうぞうしていれば、ごんと兵十は仲良くすごせたと思います。

ゴンように人が見ていないところで、よいことをしている人は、たくさんいると思います。そういう人に気づけるひつになりたいです。

☆四年一組 感想文

「ごんぎつね」 野村玲太郎

ぼくは、この物語を読んですこし悲しい物語だと思いました。なぜなら、良いことをしていたはずのごんが、兵十にうたれてしまったからです。そして、ごんが兵十にくりや松たけを持って行く場面が最も心に残りました。ごんは、きつと兵十にとても悪いことをしてしまつたなという気持ちになつて、これで兵十が元気になつてくれるかなという気持ちだつたと思います。そして、いつもくりや松たけをくれたのは、ごんと分かつた兵十は、本当はよいキツネだつたのにひどいことをしてしまつたな。いたづらをするけど、ちゃんとつぐないもする良いきつねとおもっていたでしょう。最後に、ぼくはこの本を読んで、人の心をきつづけるようないたづらは、してはいけないということを知りました。



☆四年一組 感想文

「ごんぎつね」 大幡 岳久

悲しいお話でした。ごんは、兵十のためにくりやまつたけを持って行ってやつたのに、その受取人である兵十にうたれてしまつたからです。

ぼくが兵十だつたら、ごんをうつた後、ごんがうなずいたのを見た時、とても悲しい気持ちになるはずですよ。

ごんは、兵十のお母さんが亡くなった時に、あやまつてごかいをとおき、そしてこつそりでなく、きちんとくりやまつたけを兵十にわたしてあげれば、こんな結果にならなかつたはずですよ。こそこそせず、堂々とするのが大切だと思います。

☆二年二組 おてがみ

いあさんへ
お元気ですか？
日本にいるときに
たくさんあそんでくれて
ありがとう。

りのんより

☆二年二組 おてがみ

くるみちゃんへ
元気？ わたしは、元気だよ。
このあいだ お手紙くれて
ありがとう。
すごうれしかったよ。
もうすぐハロウィンたのしみだね。
わたしはまじよの
コスチュームをきるよ。
いもうとは、ティンカーベルの
コスチュームだよ。
かえってきたらまたあそんでね。

ゆりなより

☆二年二組 おてがみ

さあやへ
げんきですか？
わたしは元気です。
今は、秋休みです。
アーカンソーのひいお
ぼあちゃんに会いに行
きました。
たのしかったです。
今日からフルのおけ
いこをはじめます。
じょうずにおよげるよ
うになりたいです。
さあやにあえるのが
たのしみです。また、
ティスニールランドに
いっしょに行きたいで
す。

めいより

☆第二回高等部

弁論大会 結果

☆最優秀賞

「武士道」

三年 神谷 地洋

☆優秀賞

「差別という名の
かけを持つ世界」

一年 神谷 育寿

☆校長賞

「あなた何型」

一年 茂木 柚伽

